

2021年10月27日

欧州で自動車向け複合成形材料の一貫供給体制を確立

帝人グループで自動車向け複合成形材料事業を展開するテイジン・オートモーティブ・テクノロジーズ（本社：米国ミシガン州、社長：スティーブ・ルーニー、以下「TAT」）は、このたびフランスの拠点において、生産性、外観性、寸法・品質安定性に優れるSMC（*）製造設備による商業生産を開始しました。

（*）SMC：Sheet Molding Compoundの略。ガラス繊維や炭素繊維などの強化繊維に熱硬化性樹脂を含浸させ、シート状にした成形材料向けの中間基材。

TATは、自動車向けのコンポジット部品の北米最大のサプライヤーとしての地位を確立しており、主にガラス繊維を用いた自社開発のSMCを製造していますが、このたびフランスでの商業生産を開始したことで、ポルトガルやチェコの成形拠点と共に欧州におけるバリューチェーンを確立しました。これにより自動車産業の主要市場の1つである欧州の域内において、北米と同様に材料から成形までの一貫生産体制を実現したことになります。

今後、TATは、開発中の低VOC（低揮発性有機化合物）などを使用した製法も加え、優位性の高いコンポジット製品を拡大展開することにより、欧州の自動車メーカーのニーズに対応していきます。

帝人グループは、自動車業界が求める軽量、安全で、エネルギー効率や耐久性に優れた部品をグローバルに提供することができる世界有数のリーディングカンパニーとして、さらに確固たる地位を確立していきます。また、バリューチェーン全体のライフサイクルにおける、CO2排出量削減に向けた技術開発や様々な取り組みにも注力し、2030年近傍には、自動車向け複合成形材料事業の売上を2,000百万米ドル規模へと拡大していきます。

【 SMC製造設備の概要 】

設置拠点の所在地	フランス メヌ＝エ＝ロワール県 ポアンセ
設置拠点の事業内容	炭素繊維を用いたRTM、外板部材、熱可塑性コンポジットなどの研究開発およびSMC製造
新規設備への投資額	約7億円（約600万ドル）
商業生産の開始時期	2021年10月

以上

【 当件に関するお問合せ先 】

帝人株式会社 コーポレートコミュニケーション部 TEL: (03) 3506-4055